

## Louisville ホットスポットの古緯度から推定される Hotspot Drift Test of Hotspot Drift Using Recent Paleolatitude Data of Louisville Hotspot

原田 靖<sup>1\*</sup>; Wessel Paul<sup>2</sup>

HARADA, Yasushi<sup>1\*</sup>; WESSEL, Paul<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 東海大学 海洋学部 海洋地球科学科, <sup>2</sup>Univ Hawaii

<sup>1</sup>School of Marine Science and Technology, Tokai University, <sup>2</sup>Univ Hawaii

原田, 2007 JPGU では, Turduno et al., 2003 で得られた Hawaii ホットスポットトラックの古緯度のデータを解析し, このデータはホットスポットの相対運動の結果ではなく真の極移動だけで説明可能なことを示した. 本研究では同様な解析を Koppers et al., 2012 の Louisville ホットスポットトラックの古緯度のデータを用いて行った.

その結果は下図の様になり, 古緯度のデータの得られたサイト U1377 (50Ma), U1376 (64.1Ma), U1373 (69.5Ma), U1372 (74.2Ma) のデータは太平洋プレートの絶対運動と太平洋プレート上の古地磁気データから得られた(真の)極移動曲線から推定された理論的な古緯度とよく一致することがわかった. このことより Hawaii, Louisville 両ホットスポットトラックの古緯度の変化は, ホットスポットのドリフトを仮定せずに良く説明できることが示された.

さらにこの太平洋プレートで得られた(真の)極移動曲線は, 精密に求められたアフリカプレートの絶対運動モデルから独立に推定された(真の)極移動曲線と整合的であることも明らかになった.

キーワード: Hotspot Drift, Louisville ホットスポット, 古緯度, 真の極移動

Keywords: Hotspot Drift, Louisville Hotspot, Paleolatitude, True Polar Wander Path

